



社協

ほほえみ

2022年

(令和4年)

7月20日

第139号

発行 社会福祉法人 豊丘村社会福祉協議会 〒399-3202 豊丘村大字神稲3039番地1 ☎ 0265-35-1122 印刷 龍共印刷株式会社



上市場自治会

災害時住民支え合いマップの 更新・作成が行われております！

昨年度からはじまった災害時住民支え合いマップの作成は、今年度、多くの自治会で更新となり、小さな自治会は全員で、大きな自治会は役員さんや組長さんが代表して作業を進めてくれています。1

年経つと、空き家になってしまったところや、逆に住宅が新しく建ったところ、体の状態に変化があった方などあり、昨年度のマップから地域の様子が変わりつつ変化をしていることが分かります。

今年度は、調査票兼同意書にお名前と年齢の記入、村と社協への情報提供に同意欄を設け、様式を変更いたしました。今回の変更点は、災害時に外部支援者が応援に駆け付けたとき詳細な情報提供ができ、スムーズな救助活動に繋げるためのものです。この情報をもつて、要支援者を村・社協でも把握できる

こと、また、災害後の支援、例えば福祉避難所の運営等に役立てたいと考えています。みなさんに作成していただいたマップは地域の宝物です。防災訓練など、地域の方が集まる時に、ぜひマップを広げて、避難ルートの確認や、地域の支え合いにお役立てください。

普段から顔の見える関係性が災害時に大きく影響します。多世代が交流する地域のおまつりや運動会、子供会や高齢者クラブ、ミニデイやサロン等、普段からある地域の集まりが減災力となり、災害から人や暮らしを守る力に繋がります。

長引くコロナの影響で地域の活動が減り、顔を合わせる機会が少なくなっておりますが、少しずつ様々な行事が再開されてきています。日頃のご近所付き合いや地域の活動を通して人とのつながりを大切にしながら、災害に強い地域づくりを目指していきたいと思います。

マップの更新には、役場地区担当職員と社協職員が地域へおじゃまいたしますので、よろしく願いいたします！



中平自治会



壬生沢西自治会



小園自治会

ホームページアドレス <http://toyo-sha.jp/>



社協報「ほほえみ」の発行には赤い羽根共同募金の配分金が使われています。

令和3年度

豊丘村社会福祉協議会事業報告

1 高齢者・障がい者等への生活支援・生きがい対策の充実

- (1) 「豊丘おてこ隊」による独居高齢者・高齢世帯の日常生活支援
 - ⇒ 延68件実施
- (2) 認知症地域支援推進員による認知症の正しい知識の普及啓発、相談・支援
 - ⇒ 高齢者等見守りネットワーク模擬訓練：10月田村区にて実施 参加64名
 - ⇒ 認知症サポーター養成講座：5・9月実施 参加94名
- (3) 認知症カフェの開催（毎月3回 社協・どんつく・JA長野会）
 - ⇒ 延利用者 温かサロン：28名、よりみちカフェ：13名、かわのカフェ：40名
 - ⇒ （中止あり：5月・7～9月・1～3月）
- (4) ヘルパー訪問による家事等の支援・安否の確認等
 - ⇒ 障害者自立支援：延430.5時間
- (5) 福祉タクシー利用者証の発行と運営管理
 - ⇒ 件数：11,806件、利用者数：延15,288名、金額：17,257,880円
- (6) 高齢者・障がい者の「希望の旅」事業実施と支援
 - ⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響により旅行等は未実施
- (7) 高齢者・障がい者等が組織する団体への協力及び支援
 - ⇒ 高齢者クラブ連合会 総代会：4月、マレットゴルフ大会：6月
 - ⇒ 身体障がい者福祉協会 総会：4月、村長としやべらまい会：11月
- (8) 高齢者ふれあい地域サロンの運営支援
 - ⇒ 開催：8地区 132回
- (9) 「車いす対応軽自動車」の貸出し
 - ⇒ 車貸出し：128回
- (10) 配食サービスの実施（週1回）
 - ⇒ 1,105食

2 社会的弱者の支援

- (1) 生活困窮者への相談支援
 - ⇒ 101件（前年度66件）
- (2) ぐらしの相談の実施（民生児童委員・行政相談員連携）
 - ⇒ 毎月第4日曜日（原則）
 - ⇒ 相談件数：3件
- (3) 豊丘村独自の小口資金（ぐらしの資金・医療貸付金）の取組み
 - ⇒ ぐらしの資金：利用者2名 利用額172,000円 貸付残13件、921,000円
- (4) 生活福祉資金の活用などによる生活困窮者支援
 - ⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響に対応する特例貸付制度・緊急小口資金（一時的な生計維持、貸付上限20万円）：6件、80万円
 - ⇒ 総合支援資金（継続的支援要す貸付け、単身15万円／月・2名以上20万円／月×3月）：12件、611万円
- (5) 基幹的社協（飯田市社会福祉協議会）や公的支援機関と連携した支援事業の実施
 - ⇒ 日常生活自立支援事業：契約2件
- (6) 信州パーソナル・サポート事業（生活困窮家庭の子どもに対する学習・生活支援）の実施
 - ⇒ 支援件数：延31件
- (7) まいさば出張所（生活困窮者自立支援事業・就労支援事業・家計相談等の支援）の相談窓口・支援事業
 - ⇒ 相談支援件数：延92件
- (8) フードドライブの実施
 - ⇒ 年4回 6・9・12・3月実施
- (9) 生活困窮世帯への日用品（マスク、生理用品等）の支援
 - ⇒ 延27世帯

3 介護サービスの充実

- (1) ケアマネージャによる介護サービス計画の作成
 - ⇒ 居宅介護支援 延1,038件
- (2) ホームヘルパーによる訪問介護と生活援助
 - ⇒ 訪問介護：延7,491件
- (3) デイサービスセンター「ほほえみ」における介護
 - ⇒ 通所介護：延6,287名
- (4) 介護保険相談窓口の常設（地域包括支援センターと連携）
 - ⇒ 職員1名派遣
- (5) 在宅介護者のリフレッシュのための日帰り小旅行・ケアラズカフェの開催

- ⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響により旅行事業は未実施
- ⇒ ケアラズカフェ利用者：延21名（9・2・3月中止）
- ⇒ 介護者リフレッシュ事業：クリスマスリース作り12月実施、11名参加
- (6) 在宅要介護者等のおむつ代補助
 - ⇒ 175件、3,438,046円

4 介護予防対策の充実

- (1) 介護予防・日常生活支援総合事業による訪問・通所事業の実施
 - ⇒ 総合支援事業 訪問：延1,016件、通所：延1,330名、はつらつ：延3,850名
- (2) ミニデイサービス15地域（地域主催）への協力支援
 - ⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響により9・2・3月未実施、利用者：延1,010名
- (3) ふれあい交流の促進（「おいでなんしょ会」「高齢者昼食会」等への補助）
 - ⇒ おいでなんしょ会開催：89回、高齢者昼食会開催：46回
- (4) 高齢者スポーツ大会の開催（マレットゴルフ大会等）
 - ⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響によりスポーツ事業は未実施

5 ボランティアの育成と活動の推進

- (1) ボランティアニーズの把握、情報発信
 - ⇒ ボランティアだより 社協報ほほえみに掲載
- (2) ボランティアの活動援助（ボランティア保険、謝金等の補助）
 - ⇒ 助成金：10団体、金額85,700円
- (3) 災害時の支援受け入れボランティアセンターの立上げ・運営訓練
 - ⇒ 立上訓練実施：10月、備蓄備品半数「はやしの杜」村福祉避難所防災倉庫へ移送：1月
- (4) 「災害福祉カンタンマップ」実証実験、「災害時住民支え合いマップ」の作成支援（行政・地域との共同）
 - ⇒ 54自治会中51自治会の作成支援

6 結婚相談事業の充実

- (1) 村内の結婚希望者に関する情報収集
 - ⇒ 結婚相談会：11回、相談者：延14名
- (2) 「愛ねっと北部」を通じ長野県婚活支援センターの婚活アプリ活用支援
- (3) 近隣市町村との情報交換、交流（「天竜縁結びの会」等）を実施
 - ⇒ 「愛ねっと北部」の運営支援（「天竜縁結びの会」は年度当初廃止）
- (4) イベント、交流等を「愛ねっと北部」と連携し開催
 - ⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等は未実施

7 福祉事業の普及啓発

- (1) 社協報（年4回）の発行
 - ⇒ 4月、7月、10月、1月発行
- (2) 福祉啓発イベントの開催（健康・福祉・介護に関する講演会等）
 - ⇒ 「健康と福祉のつどい」3月開催：石井布紀子氏講演「災害にも強い福祉のむらづくり」
 - ⇒ 新型コロナウイルス感染症の影響により講演は未実施、ケーブルTV放映
- (3) 赤い羽根共同募金の実施（10月から募金目標額170万円）
 - ⇒ 件数：1,295件、金額：1,673,791円

8 その他

- (1) 新型コロナウイルス感染症対応
 - ⇒ 5月：主任会議で対応策再検討
 - ⇒ 7月：新型コロナウイルス感染症対策要領策定
 - ⇒ 10月：感染症対策委員会の発足、委員会9回開催
 - ⇒ 1～2月：職員2名の感染、全関係職員の抗原検査（陰性）、HP公表
- (2) 事業継続委員会の発足 12月～
 - ⇒ 感染症・災害発生時の事業継続計画策定の検討
- (3) 虐待防止委員会の発足 12月～
 - ⇒ 職員研修の実施、虐待防止指針策定の検討

令和3年度 決算報告

法人運営

収入合計 82,099,284

支出合計 79,334,831

次年度繰越金 2,764,453円

(単位:円)

収 入			支 出			
区 分	R2決算額	R3決算額	区 分	R2決算額	R3決算額	内 容
会 費	2,430,500	2,361,500	法 人 事 務 費	20,650,858	20,261,526	役員報酬等
寄 附 金	460,000	525,210	地 域 支 援 事 業	22,405,829	23,142,556	高齢者昼食会補助金等
県・村補助金	68,850,727	69,267,013	結 婚 相 談 事 業	257,290	268,862	相談員報酬等
県社協補助金	0	2,164,000	くらしの相談事業	72,700	83,100	相談員報酬等
共同募金配分金	1,384,500	1,444,737	ボランティア事業	869,136	776,125	ボランティア活動保険料等
受 託 金	3,699,789	4,112,217	福祉のまちづくり事業	19,509,178	17,636,627	福祉タクシー事業等
償 還 金 収 入	360,830	277,000	介護予防拠点施設管理事業	8,195,033	9,828,480	水道光熱費等
事 業 収 入	956,680	537,100	共同募金配分金事業	1,102,919	1,202,119	身体障がい者希望の旅助成金等
雑 収 入	60,692	131,015	北部地区結婚相談所事業	3,735,789	3,935,517	人件費・イベント経費等
前年度繰越金	920,026	1,279,492	信州パーソナルサポート事業	167,717	216,290	ボランティア謝礼等
			固定資産取得支出	0	1,038,779	パソコン・物置・発電機等
			積立資産支出	877,803	944,850	運営基金積立
合 計	79,123,744	82,099,284	合 計	77,844,252	79,334,831	

介護事業

収入合計 184,060,087

支出合計 139,903,936

次年度繰越金 44,156,151円

(単位:円)

収 入			支 出			
区 分	R2決算額	R3決算額	区 分	R2決算額	R3決算額	内 容
居宅介護支援収入	16,094,750	18,705,480	居宅介護支援支出	19,495,476	20,668,788	人件費等
訪 問 介 護 収 入	33,571,494	31,190,295	訪 問 介 護 支 出	25,597,954	28,697,577	人件費等
通 所 介 護 収 入	68,370,113	66,426,832	通 所 介 護 支 出	65,225,469	74,759,478	人件費等
はつらっクラブ収入	10,710,600	10,986,190	はつらっクラブ支出	10,984,089	11,108,543	人件費等
障 が い 福 祉 収 入	1,719,450	1,388,696	障 が い 福 祉 支 出	1,719,450	1,388,696	人件費等
施設整備等補助金収入	941,600	500,000	固定資産取得支出	3,679,180	1,116,500	ケア記録ソフト・Wi-Fi 工事
拠点区分間繰入金収入	415,840	418,792	ファイナンス 債 務 の 返 済	970,704	970,704	介護ソフトリース
退職預け金返還金収入	0	5,337,900	積 立 資 産 支 出	19,266	3,538	基金利息積立
退職共済預け金移管金収入	1,059,000	1,059,000	退 職 共 済 預 け 金 支 出 等	1,552,932	1,190,112	退職共済預け金等
前 年 度 繰 越 金	44,408,575	48,046,902		0		退職年金共済差益
合 計	177,291,422	184,060,087	合 計	129,244,520	139,903,936	

高齢者クラブ連合会 〈春のマレットゴルフ大会〉

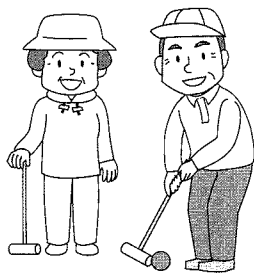
6月8日、春のマレットゴルフ大会をアカシアマレットゴルフ場にて開催いたしました。

この大会は、今年度最初の高齢者クラブ連合会の事業となります。

参加者は38名、団体は4チームでの戦いとなりました。最高の天気となり、爽やかな新緑の中で皆さんそれぞれマレットゴルフを楽しんでいました。秋の大会は10月12日(水)水辺のマレットゴルフ場にて行います。ぜひ大勢のご参加をお願いいたします。



個人の部 上位3名



試合の結果は次のとおりです。

○個人成績

優勝 勝 福島 荒治さん
準優勝 中塚 勝子さん
第三位 宇佐美トクエさん

○団体成績

優勝 勝 伴野A
準優勝 田村
第三位 河野
○ホールインワン
片桐秀人、宇佐美博敬、
片桐修次、原 健治



団体優勝 伴野Aチーム

赤い羽根共同募金の 公募配分事業について

今年度、田村区では、赤い羽根共同募金の配分金(限度額…1地区20万円)を活用して、防災関係物品(ヘルメット)を整備しました。

今回の整備により、地区の防災活動などの更なる充実が図られることが期待されます。共同募金は、安心・安全なまちづくり活動などに有効に活用されていますので、地区・自治会で活用希望がある場合は、社会



は、社会福祉協議会か役場総務課までお問い合わせください。



田村区 防災用ヘルメット

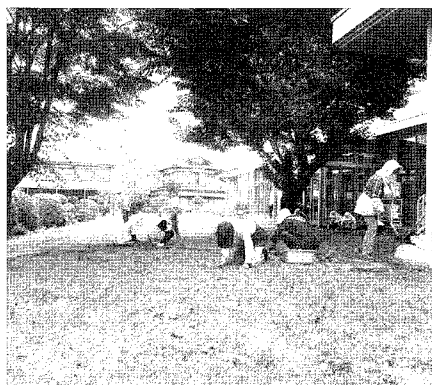
日赤奉仕団奉仕活動 ～いつもありがとうございます～

毎年、豊丘村赤十字奉仕団の方々が各施設の清掃作業をしてくださいます。

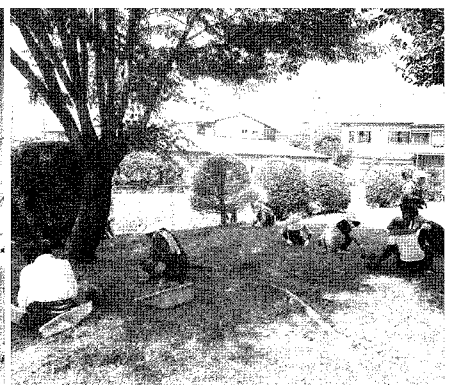
デイサービスセンターほほえみでは、暑い中草とりに精を出してくださり、庭が清々しくなりました。また、介護予防拠点施設はつつでは、室内がピカピカになり気持ちよく使えそうです。



7月6日 介護予防拠点施設はつつ 第4分団



6月24日 デイサービスセンターほほえみ 第5分団



日常生活自立支援事業

豊丘村社会福祉協議会では、高齢者や障害のある方々が、住み慣れた地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用などに関わる相談やお手伝い（援助）をし、その生活を支援する「日常生活自立支援事業」を行っております。

このサービスを利用いただける方

認知症の高齢者、知的障がい者、精神障がい者などで判断能力が十分でないため日常生活での福祉サービスのご利用や、金銭管理などがうまくできない方々が対象になります。

サービスの内容

- ・福祉サービスの援助利用 福祉サービスを安心してご利用できるようにお手伝いします。
- ・金銭管理サービス 毎日の暮らしに欠かせないお金の出し入れをお手伝いします。
- ・書類等預かりサービス 大切なハンコや証書などを安全な場所でお預かりします。

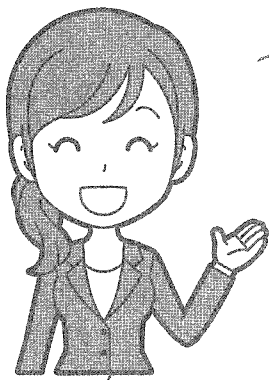
利用（支援開始までの流れ） ※サービスを利用するには手続きが必要です

【相談、支援計画の作成の対応（無料）】

- ① 相談の受付 : ご本人、ご家族、民生委員、ケアマネジャーなど、どなたからの相談でも社協で受け付けます。
- ② 訪問 : 社協の職員が、ご自宅まで訪問し、何にお困りかをおたずねします。秘密は必ず守ります。
- ③ 支援計画の作成 : お手伝いの内容や頻度をご本人と一緒に決めます。
- ④ 契約の締結 : 内容に問題がなければ、ご本人と社協が契約をします。

【社協職員（専門員・生活支援員）によるお手伝い（有料）】

- ⑤ サービスの開始 : 契約のとおり社協職員（専門員・生活支援員）が訪問し、お手伝いをします。
- ⑥ 支援計画の見直し : 社協の職員が、サービスの内容を定期的に見直します。



契約を結んで生活支援員の訪問が始まってから利用料がかかります。
それまでは職員が何度訪問しても無料です。

○利用料

1時間あたり 1,000円

○交通費

1kmあたり 20円

生活保護を受給している方は、利用料・交通費とも自己負担はありません。

福祉タクシー証の申請はお済ですか？

豊丘村に12ヶ月以上引き続き居住されており、下記のいずれかに該当する方はタクシーを格安で使える「福祉タクシー証」の申請ができます。

対象者

1. 満73歳以上の方
2. 身体障害者手帳の交付を受けた1級、2級、3級、4級の1号・3号・4号の方
3. 療育手帳の交付を受けた方
4. 精神保健福祉手帳受給者
5. 満65歳以上の独居高齢者で村民税非課税者
6. 上記に該当しない要支援・要介護認定者
7. 運転免許証自主返納者
8. 母子手帳交付日から産後2ヶ月までの妊産婦
9. その他村長が必要と認めた方

利用時間

午前7時～午後7時まで（ただし、妊産婦はこの限りではない）

負担金及び運行区域

運行区域を超えた場合は、通常料金が発生します。

片道700円での運行区域

- 豊丘村全域
- 下伊那赤十字病院・尾地クリニック
高森眼科医院・竹村整形外科医院
藤が丘医院
- 国道153号線松川町新井交差点～飯田市
上郷飯沼までの範囲
- ※妊産婦のみ対象：高森レディスクリニック

片道1,400円での運行区域

- 飯田市立病院・飯田病院・健和会病院
輝山会記念病院・瀬口脳神経外科病院
- ※妊産婦のみ対象：
 - ・西澤病院
 - ・羽場医院
 - ・平岩ウイメンズクリニック

タクシー会社

北部タクシー有限会社

申請方法

申請される方の顔写真（大きさ23mm×30mm）をご持参のうえ、豊丘村社会福祉協議会にて申請書に記入をお願いします。福祉タクシー証がお手元に届くまで1～2週間ほどかかります。

お問合せ

豊丘村社会福祉協議会 総務課 TEL：0265-35-1122

社協会費にご協力をお願いします

皆さんが暮らしている地域では、ちょっとした助けを必要としている人や、困りごとを抱えている人など、さまざまな福祉課題や生活課題を抱えている人がいます。

社協ではそういった方々の問題を解決し、地域全体をより良くするため、住民の皆さんや行政などと協力して「高齢者も障がい者も、安心して暮らせる豊丘村づくり」を目指して活動しています。

社協会費は7月から8月にかけて隣組長さんにご依頼し、村民の皆様にご協力いただいています。

■社協会費Q&A

Q：社協会員になった覚えはないよ…

A：社会福祉協議会は、住民の皆さんの自らが地域づくりに参加して、地域福祉を推進することを目的とした団体です。

このため住民自身が会員として社協の基盤を支えています。

Q：どうしても出さなくてはいけないの？

A：社協会費は強制的なものではありません。ご賛同いただける方にご協力をお願いいたします。



豊丘中学校で福祉教育を始めた

『誰もが安心して暮らせる社会にするために、助けを必要としている人へ思いやりを込めて、今自分ができていることを考えよう』

豊丘中学校3年生を対象に福祉教育を実施しました。

第1回目はあいサポート1
ター研修をうけ、様々な障
がいの種類を学びました。

第2回目は認知症サポ
ー1養成講座をうけ、認知
症の症状や認知症の方の思
い、その対応を学びました。

第3回目は、「助けを必
要としている場面」の体験
として、軍手や特殊なメガ
ネを使用してのお会計、片
腕のみでの着替え、関節を
動かすににくい状態でのお茶
くみ等をし、手指の感覚の
変化や白内障の方の見え
方、麻痺またはケガをした
方の生活場面を体験しまし
た。車いすでの段差走行や
買い物体験もし、併せて「そ
のような場面はどう関わる
か」も考えました。

福祉教育とおして学び
を深めた豊中3年生。「今
の自分にできること」を多
くの言葉にしてくれました。
地域を支える頼れるサポ
ー1です！



声を
かけながら
後ろから
サポート
します



サポートの
基本は
「脱健着患」
です

○安心して暮らせる社会とは…

・お互いに尊重・理解し合える社会
・それぞれの人が、自分がやりたいことができ
る社会

・「助けて」といえる、助けてくれる人がいる
社会

・誰もが平等に暮らせる社会

○今の自分にできること

・相手の気持ちを聞き見守る

・相手に合わせてサポートする

・「障がい者だから」ではなく、助けを必要と
している方だからサポートする

・災害があった時は、中学生として車いす等
で地域の方を運びたい

・やり方を伝えたり、途中でサポートして
見守る、等のやり方も大事にしたい

令和4年度 第1回フードドライブのお礼

今年度1回目のフードドライブを6月6日～6月17日の12日間実施しました。

今回も多くの皆様からたくさんの温かいご寄付をいただきました。心から感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業によって食料支援などが必要なご家庭が現在も増えています。皆様からいただいた食料品は、支援が必要な方々や村内の福祉事業所などにお届けしています。

◎いただいた食料

・お米（白米・玄米・もみ米）	77.4kg
・缶詰（シーチキン・鯖缶など）	4個
・レトルト食品（カレー・佃煮）	26個
・インスタント食品（カップ麺など）	92個
・お菓子（せんべい・飴など）	23個
・飲み物（お茶・くず湯など）	2個
・調味料（砂糖・カレールウなど）	55個
・粉類（てんぷら粉など）	2個

『フードドライブのお願い』

社協では年に4回フードドライブの募集をおこなっていますが、社協窓口・公民館・ファミリーマートでは年間を通じて食料品の寄付を受け付けています。

ご家庭で眠っている食料品などがありましたら、みな様のご協力をよろしくお願いいたします。



【夏のイベントのご案内】

みんなのカレー

～地域の人々とつながろう!!～

限定食!
200食!
(おひとり1食)

長引くコロナ禍により、地域の活動が減っています。

赤い羽根共同募金のテーマである『つながりをたやさない社会づくり』に向け、地域のボランティアさんや食材を提供して下さるみなさまと社協が協働し、みんなのカレーを作ります。

地域の方とお顔を合わせながらおいしいカレーを食べましょう!

小さいお子さんからご高齢の方まで、みんながつながる場になりますように♪

○日にち:7月31日(日)11時～(なくなり次第終了とさせていただきます)

*11時から全食数分の整理券を配布します。

11時から10分ごと時間を区切り、カレーをお配りしますので、大ホールまたは研修室1.2でお召し上がりください。

○場所:ゆめあるて大ホール、研修室1.2

○参加:村内にお住まいの方どなたでも!!

○金額:無料

・新型コロナウイルスの感染状況により、持ち帰りとさせていただきます場合がございます。(おひとり1食)

・当日は、感染対策へのご理解とご協力をお願いいたします。

はつらつクラブ ご利用者作品展



はつらつクラブでは、これらの作品を一緒に作ってくれる仲間を募集中です!
手芸の他、簡単な体操教室(ころばん塾)なども行っています。

